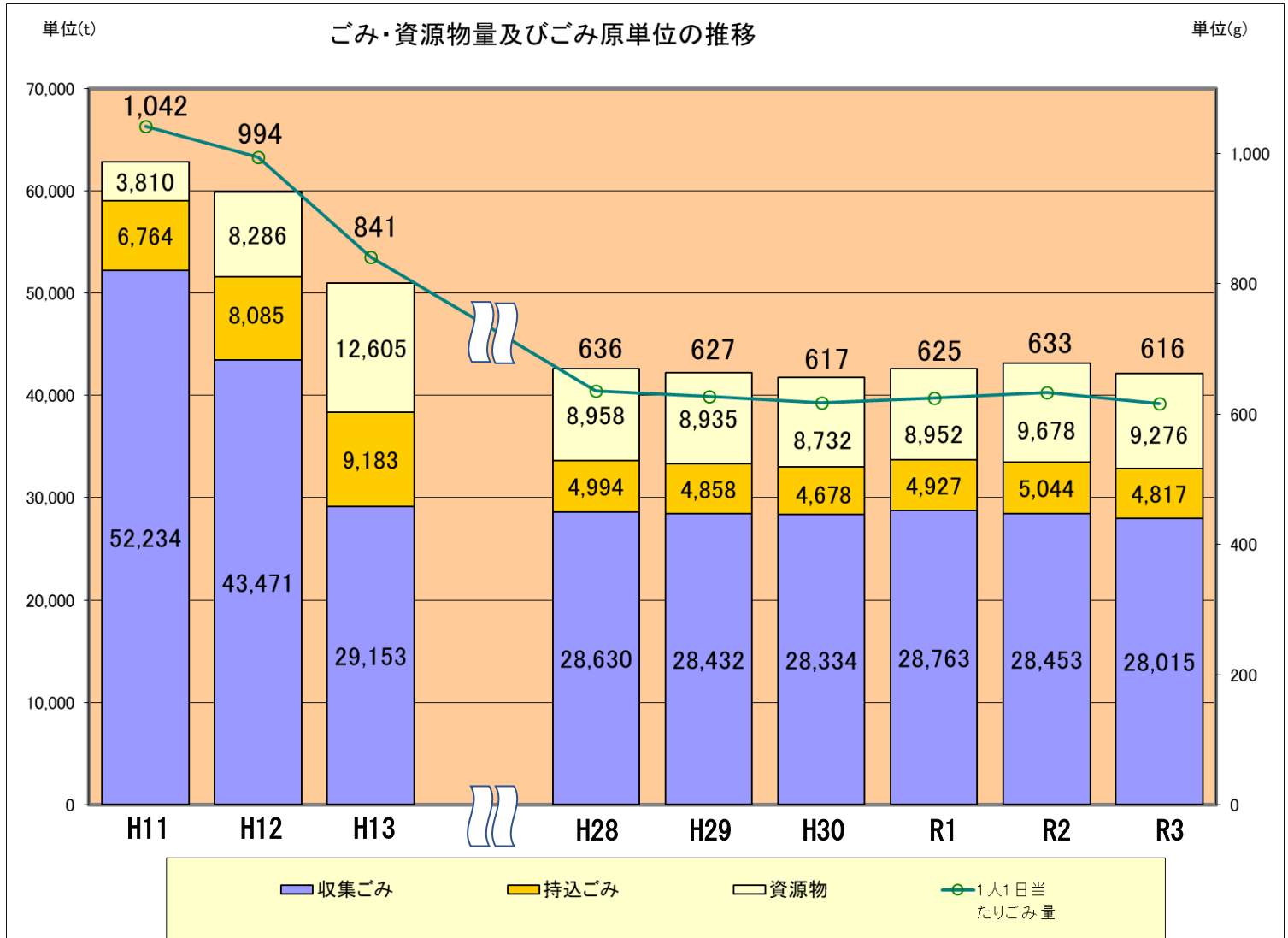


日野市の清掃概要

(令和3年度版)



日野市クリーンセンター

〒191-0021

日野市石田1-210-2

電話：581-0444

FAX：586-6606

1 分別収集

種 別	収集方法	排 出 方 法	収集回数
可燃ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（緑色・半透明） 家庭用ミニ袋（5ℓ）＝10 円 小袋（10ℓ）＝20 円 中袋（20ℓ）＝40 円 大袋（40ℓ）＝80 円 事業系小袋（15ℓ）＝100 円 特大袋（45ℓ）＝300 円	週 2 回
プラスチック類 ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（青色・半透明） 可燃ごみと同じ	週 1 回
不燃ごみ	原則戸別収集	・市指定有料袋（橙色・半透明） 可燃ごみと同じ	4 週に 1 回
有害ごみ	原則戸別収集	・無 料 乾電池・水銀体温計はポリ袋、蛍光灯は購入時の箱等 ビデオテープ、ライター、スプレー缶を平成 17 年 11 月より有害ごみとして分別収集開始	週 1 回 （プラごみと 同日収集）
粗大ごみ	原則戸別収集	・品目別料金シール貼付制 （電話申し込み） （品目により 200 円～3,000 円）	随 時
資 源 物	原則戸別収集	・無料回収 9 品目 雑誌・雑紙類、段ボール、紙バック類、古着・古布、かん、びん ペットボトル、新聞、小型家電・金属類	2 週に 1 回 4 週に 1 回

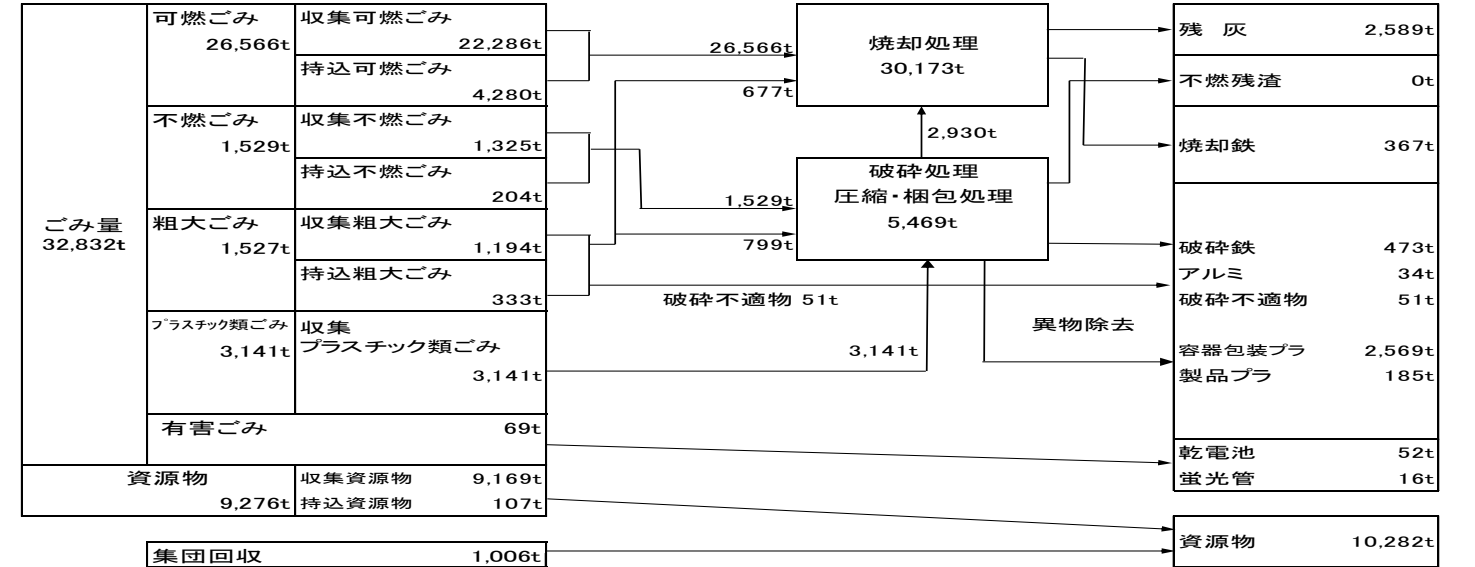
- ※ 平成 12 年 9 月までダストボックス収集（可燃・不燃）。平成 12 年 10 月から原則戸別収集及び市指定有料袋制。
- ※ 市指定有料袋は 1 枚当たりの手数料。 ※ 事業系ごみ（可燃・不燃）は 1 回の排出量が 90ℓ 以下の事業所のみ収集。
- ※ 平成 25 年 4 月から小型家電・金属類の回収を始める。（平成 27 年 4 月よりパソコンの回収を開始）
- ※ 令和 2 年 1 月からプラスチック類ごみの収集を始める。（これまでのトレー等の収集は廃止）

2 ごみ量の推移

年 度	総ごみ量 (t)	内 収 集 量 (t)								1 人 1 日 当 たり 排出量 (g)	1 人 年 間 排出量 (kg)	10/1 日 現 在 人 口 (人)
		可 燃	不 燃	プ ラ ス チ ッ ク	粗 大	有 害	資 源 物	小 計	持 込 量 (持込資源物 を含む)			
12	59,842	32,895	9,429	0	1,083	64	8,286	51,757	8,085	994	363	164,948
28	42,582	22,250	5,202	0	1,120	58	8,847	37,477	5,105	636	232	183,511
29	42,225	22,224	5,089	0	1,063	56	8,846	37,278	4,947	627	229	184,478
30	41,744	22,126	5,081	0	1,063	64	8,696	37,030	4,714	617	225	185,330
元	42,642	22,495	4,182	838	1,181	67	8,892	37,655	4,987	625	229	186,285
2	43,175	22,464	1,474	3,239	1,207	69	9,554	38,007	5,168	633	231	186,992
3	42,108	22,286	1,325	3,141	1,194	69	9,169	37,184	4,924	616	225	187,293

- ※ 1 人 1 日 当 たり 排 出 量 (g) は 総 ご み 量 ÷ 各 年 10/1 現 在 人 口 ÷ 365 日 で 算 出。 た だ し、 令 和 元 年 度 は 366 日 で 算 出。
- ※ 1 人 年 間 排 出 量 (kg) は 総 ご み 量 ÷ 各 年 10/1 現 在 人 口 で 算 出。 ※ 10/1 現 在 人 口 は 外 国 人 登 録 を 含 む。
- ※ 平成 23 年 4 月より持込み料金を 25 円/kg → 42 円/kg に改定

3 ごみの行方



4 資源物回収状況

(1) 市事業 単位：kg

年 度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
スチールかん	163,440	157,940	151,680	162,627	178,370	165,350
アルミかん	200,740	193,872	200,218	203,103	246,609	261,734
び ん	1,289,010	1,261,130	1,214,750	1,218,850	1,349,600	1,332,080
新 聞	450,750	404,530	325,980	306,530	295,800	295,300
雑誌・雑紙類	3,499,140	3,480,080	3,372,430	3,373,680	3,283,840	3,045,990
段 ボ ー ル	1,503,730	1,548,630	1,528,330	1,651,240	1,998,420	1,921,120
紙 パ ッ ク 類	56,853	53,949	53,640	53,510	59,960	56,090
古着・古布類	931,630	947,120	942,700	1,033,520	1,176,180	1,198,140
小型家電・金属類	330,220	333,080	378,830	408,960	559,030	474,390
ペットボトル	345,770	363,070	375,500	373,820	405,880	419,250
ト レ ー 類	152,100	157,890	151,620	105,790	－	－
合 計	8,923,383	8,901,291	8,695,678	8,891,630	9,553,689	9,169,444

※ 令和2年1月より、プラスチック類ごみの分別収集を開始。(トレー類含む)

(2) 集団回収 単位：kg

年 度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
スチールかん	12,948	14,688	13,737	11,872	6,867	6,658
アルミかん	40,706	41,316	39,206	35,756	31,519	31,667
び ん	257	173	199	106	0	0
新 聞	650,735	594,843	521,604	452,599	323,043	318,328
雑誌・雑紙類	574,762	564,080	535,614	523,332	411,050	385,885
段 ボ ー ル	299,160	290,264	286,135	278,291	243,010	241,134
紙 パ ッ ク 類	14,114	14,866	15,406	14,210	10,565	10,996
古着・古布類	105,356	104,791	106,074	109,188	34,571	11,687
合 計	1,698,038	1,625,021	1,517,975	1,425,354	1,060,625	1,006,355
奨 励 金	14,546,297	13,957,540	13,050,302	12,250,684	9,020,823	8,724,179
実 働 団 体 数	110	108	108	109	100	89

(3) 総資源化率

年 度	H12	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
総資源化率	21.0%	35.3%	34.9%	34.9%	34.1%	34.4%	39.2%	38.4%

※ 総資源化率＝
$$\frac{(\text{資源ごみからの資源化量} + \text{集団回収量} + \text{収集後資源化量})}{(\text{総ごみ量} + \text{集団回収量})}$$

5 廃棄物広域処分場搬入配分量と搬入実績

年 度		H28	H29	H30	R1	R2	R3
焼却 残灰	配分量	3,505 t	3,372 t	3,572 t	3,591 t	3,573 t	3,559 t
	実 績	3,775 t	3,740 t	3,653 t	3,468 t	2,924 t	2,379 t
不燃 残渣	配分量	84 m³	0 m³	0 m³	0 m³	0 m³	0 m³
	実 績	0 m³	0 m³	0 m³	0 m³	0 m³	0 m³
	(t換算)	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

6 し尿収集量の推移

年 度		H28	H29	H30	R1	R2	R3
収 集 量 (kℓ)	し 尿	1, 073	1, 043	1, 039	1, 004	899	740
	浄化槽汚泥	5, 487	5, 251	4, 836	4, 688	4, 743	4, 529
	雑 排 水	8	4	2	1	21	0
	合 計	6, 568	6, 298	5, 877	5, 693	5, 663	5, 269
1 日当たり収集量 (kℓ)		18	17	16	16	16	14
軽 減 証 発 行 数 (枚)		1, 539	1, 116	1, 281	1, 242	1, 184	1, 152

7 ダイオキシン類排出濃度測定値 単位：ng－TEQ／m³ N

年 度	H29		H30		R1		R2	R3
測定値	1 号炉	0. 045	1 号炉	0. 072	1 号炉	0. 170	※浅川清流環境 組合にて測定	※浅川清流環境 組合にて測定
		0. 080		0. 052		0. 230		
	2 号炉	0. 035	2 号炉	0. 015	2 号炉	0. 010		
		0. 00037		0. 0019		0. 006		

※ 排出規制値：1ng-TEQ/m³ N 平成 25 年度以降については、年 2 回、測定を実施。
ng…ナノグラム：10 億分の 1 グラム
TEQ…ダイオキシン類のそれぞれの毒性を 2・3・7・8－四塩化ダイオキシンに換算したもの。
m³ N…0℃、1 気圧時の気体の体積

8 ごみの処理費

年 度	H12	H29	H30	R1	R2	R3
発生抑制費 (千円)	120, 906	54, 288	82, 698	95, 488	268, 420	256, 523
収集運搬費 (千円)	1, 097, 223	965, 794	979, 863	1, 003, 015	1, 034, 363	1, 105, 573
中間処理費 (千円)	974, 853	1, 194, 723	2, 266, 982	3, 773, 054	926, 520	882, 152
最終処分費 (千円)	481, 516	641, 628	513, 537	509, 548	425, 979	375, 498
合 計 (千円)	2, 674, 498	2, 856, 433	3, 843, 080	5, 381, 106	2, 655, 282	2, 619, 746
総 ご み 量 (t)	59, 842	42, 225	41, 744	42, 642	43, 175	42, 108
1 t 当たり経費 (円)	44, 693	67, 648	92, 063	126, 193	61, 501	62, 215
1 人 当 たり 経 費 (円)	16, 214	15, 484	20, 736	28, 886	14, 200	13, 987

※ 1 t 当たり経費は、ごみ処理費の合計÷総ごみ量で算出。

9 指定収集袋の歳入による実績 単位：円（上段）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
家庭用可燃用袋	251, 033, 520	258, 335, 240	257, 306, 730	256, 468, 870	267, 629, 090	276, 056, 290
	7, 254, 808 枚	7, 424, 630 枚	7, 391, 816 枚	7, 358, 588 枚	7, 780, 049 枚	7, 995, 635 枚
家庭用不燃用袋	150, 800, 390	153, 901, 300	150, 731, 180	108, 267, 570	20, 281, 740	18, 232, 240
	3, 551, 423 枚	3, 612, 290 枚	3, 526, 217 枚	2, 532, 456 枚	474, 225 枚	434, 535 枚
家庭用プラスチック用袋				71, 816, 000 1, 849, 700 枚	149, 393, 500 3, 773, 102 枚	152, 473, 880 3, 819, 506 枚
事業系可燃用袋	16, 844, 000	17, 557, 000	16, 396, 000	16, 412, 000	15, 940, 000	16, 643, 000
	65, 800 枚	68, 530 枚	68, 660 枚	64, 920 枚	63, 840 枚	68, 070 枚
事業系不燃用袋	8, 831, 000	8, 747, 000	7, 839, 800	7, 839, 800	1, 376, 000	1, 239, 000
	33, 030 枚	32, 970 枚	31, 646 枚	20, 520 枚	5, 500 枚	5, 570 枚
事業系プラスチック用袋				4, 008, 000 17, 500 枚	5, 874, 000 23, 340 枚	6, 346, 000 25, 860 枚
合 計	427, 508, 910 10, 905, 061 枚	438, 540, 540 11, 138, 420 枚	432, 273, 710 11, 018, 339 枚	462, 356, 440 11, 843, 684 枚	460, 494, 330 12, 120, 056 枚	470, 990, 410 12, 349, 176 枚

10 資源物売却による歳入実績（資源物回収分） 単位：円

年 度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
資源物回収分	48, 105, 021	66, 213, 748	62, 462, 993	67, 416, 390	48, 094, 803	76, 039, 954
施設処理資源化分	1, 633, 282	1, 255, 020	1, 081, 750	1, 259, 375	451, 730	9, 868, 490
合 計	49, 738, 303	67, 468, 768	63, 544, 743	68, 675, 765	48, 546, 533	85, 908, 444

※ 平成 23 年度より破砕鉄、平成 24 年度より焼却鉄を売却。平成 25 年度より小型家電・金属類を売却したが、平成 30 年度より小型家電については逆有償に。平成 27 年度より破砕不適物の売却を行ったが、平成 28 年度に逆有償に戻る。